

ニトロ化などタンパク質の複数の変性を抑制・分解する効果を確認 ジャボチカバに複数の美肌効果を発見し特許登録

角層研究の中で生まれた 1 成分で 6 種の効果

株式会社ナリス化粧品(代表取締役社長：村岡弘義 本社：大阪市福島区)は、南アメリカを原産とするフトモモ科の高木植物である「ジャボチカバ」に、タンパク質の糖化・カルボニル化・ニトロ化を抑制する効果に加え、生成された AGEs・カルボニル化したタンパク質・ニトロ化したタンパク質を分解する 6 種の効果を見出し、特許登録に至りましたのでその内容を以下にまとめます。

※ジャボチカバは、枝先ではなく幹や太い枝に直接実をつける珍しい植物で、これまでにアレルギー疾患を予防・改善する効果があることが知られています。ワイン・酢・ゼリーなどに加工されるほか、生食も可能ですが、収穫後の保存性が極めて低いいため市場に出回ることの少ない希少な果実です。



ジャボチカバ

■研究の背景

近年は糖化・カルボニル化・ニトロ化など肌のタンパク質の変性による影響が、肌のたるみや黄ぐすみなどの老化現象につながることが注目されています。例えば糖化は肌の弾力や物性の異常、カルボニル化は乾燥や柔軟性の異常、ニトロ化は肌の黄ぐすみに関連していることが知られています。当社では 1990 年代から肌の糖化に関する研究、2010 年代から肌のニトロ化に関する研究を行い、近年では 2016 年 11 月の第 79 回 SCCJ 研究討論会や 2020 年 10 月の IFSCC Congress 2020 など国内外の学会で発表し、糖化やニトロ化に対応できる成分についても研究を重ねてきました。

■研究の内容

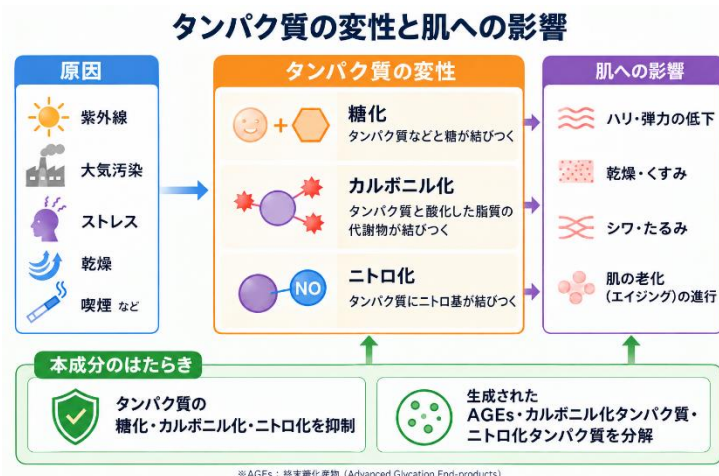
当社では、2020 年に開催された化粧品技術者の国際学会である IFSCC Congress にて発表した角層剥離とタンパク質の変性に関する研究をさらに深化させるなかで、アレルギー性疾患の予防や改善、また長時間保湿効果が知られている「ジャボチカバ」に着目して研究を開始しました。研究の結果、活性酸素を消去する効果だけでなく、タンパク質の糖化・カルボニル化・ニトロ化を抑制する効果に加え、AGEs・カルボニル化したタンパク質・ニトロ化したタンパク質を分解する複数の効果があることがわかりました。抑制効果だけでなくできてしまったものを分解する効果も併せ持つ成分を見つけられたことは画期的であると考えます。「ジャボチカバ」の効果をこれまでの研究に応用すれば、タンパク

質の変性による角層の剥離不良に対する角層ケアができることが期待され、さらには 1 つの成分でありながら 6 種の効果を併せ持つ多機能な成分は肌全体の老化予防・改善につながり、多くの人の肌悩みの解決につながるものと期待しています。

【特許登録番号】7912819

【登録日】2026 年 8 月 21 日

【名称】活性酸素消去剤、糖化抑制剤、カルボニル化抑制剤、ニトロ化抑制剤、AGEs 分解剤、カルボニル化タンパク質分解剤、ニトロ化タンパク質分解剤



【本件に関するお問い合わせ】 株式会社 ナリス化粧品 経営企画室 広報 横谷(よこたに)
〒553-0001 大阪市福島区海老江 1 丁目 11 番 17 号 TEL:06-6346-6672
横谷携帯：090-2111-5027 E-mail:narispr@naris.co.jp HP:www.naris.co.jp